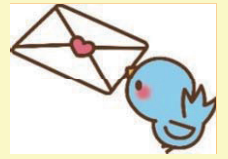


S R

# 学生特別支援室 だより

## News Letter



平成27年6月、山口大学に「学生特別支援室」が設置されました



## 学生特別支援室(SSR)とは？

- 学生特別支援室(略称SSR: Student special Support Room)は、山口大学に在籍する障害等の理由で修学上の難しさのある学生への、日常支援の拠点です。
- 「高等教育のユニバーサルデザイン化」の実現を目指し、コミュニケーションサポートルーム(CSR)を発展的に解消し、平成27年6月1日に設置されました。
- 学生特別支援室では、障害等の理由から修学に困難を抱える学生の相談に応じるとともに、所属学部・授業担当教員・その他の関係部局と連携を図って、必要な修学支援を調整します。
- また、ノートイクやガイドヘルプ等の支援スキルトレーニング研修を通して、支援学生スタッフの育成も手がけています。さらに、教職員に対して支援方法や支援に対する考え方等についてのFD・SDを実施します。



## SSR室長・宮田 浩文先生 からのメッセージ

### ○SSR設置の目的・ねらい

来年度からの「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(※)」施行に向けて、学内の支援体制を強化するために、学生支援センターにSSRを整備したところです。障害等のある学生(以下、障害学生)が他の学生と同じように、充実した学生生活を送れるようにサポートすることを目的としています。法律施行に向けて設置されたというところではあるけれども、数年のうちには法律に追いついて、在学生全体に行っているような学生支援と同じ感覚で、サポートできるようになればと思っています。

### ○今後の展望

いずれは、障害学生の支援が特別なものでなく、学生への支援の一環として定着してほしいというのが理想です。また、SSRは特別なものですが、これからは、誰もが気軽に相談できるような場であると共に、SSRを相談のファーストコンタクトの場として広く利用していただければと思います。

### ○学生へのメッセージ

SSRや障害学生への支援は、自分には関係ないと考えている学生が大半を占めていると思います。多様な人、若者が集まるキャンパスで視野を広げて、様々な勉強をしてほしい。学生のみなさんは、これからの多様な人々が集まる社会において、それらを認識し、受け入れる姿勢を大切にしてほしいと思います。

SSR学生スタッフが、  
宮田室長にお話を  
伺いました



※「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」

- 障害を理由とした不当な差別的取扱いの禁止、障害者への合理的配慮の不提供の禁止等を定めている。
- 平成25年6月制定、平成28年4月施行(国立大学での対応の義務化)
- 参考資料

- (1)障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)
- (2)障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針(平成27年2月24日閣議決定)

# SSRにご相談ください

学生特別支援室（SSR）では、障害等により修学上の困難がある場合の相談に応じています。大学での修学で困り感のある学生、具体的な支援実施についてお悩みの教職員の方々、まずはSSRにご連絡ください。

## ①SSRに連絡

- 支援を希望する学生、支援の実施について検討している教職員の方は、学生特別支援室にご連絡ください。

## ②相談・定期面談

- 相談や定期面談が必要な場合は予約を取らせていただきます。
- 初回の相談では、困っている状況を教えてください。

## ③支援の調整

- 支援を行う場合は、支援内容について関係者間で協議します。
- 関係部署と連携して支援を行います。

# お知らせ

## ① 学生特別支援室のホームページができました！

ホームページでは、学生特別支援室の役割や取組等について紹介しています。

<http://ssr.ssc.oue.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学 学生特別支援室

検索

※山口大学HPからもアクセスできます。  
「在学生の皆様」→「相談窓口/学生特別支援室」



## ② 第1回「障害学生連絡会」が開催されました

平成27年10月28日、「第1回障害学生連絡会」が開催されました。

障害学生連絡会は、学内の障害等のある学生の支援について、全学で連携していくために情報共有・意見交換を行う場です。第1回連絡会では、各学部の教学委員の先生方や関連部署の教職員が参加し、学生特別支援室の役割、支援体制整備のための準備等について確認しました。

障害学生連絡会は、年に2回(4月・10月を予定、臨時開催有)を基本として開催されます。

## ③ 学生特別支援室「支援スキル研修会」を開催します

平成27年度後期、学生特別支援室では、障害等のある学生への支援のための支援スキルトレーニング研修会を開催します。興味のある山口大学生は気軽にご参加ください。

●対象：山口大学に在籍する学生（参加費無料）

●申込：当日参加可能ですが、事前に学生特別支援室宛にメールで申し込めると助かります。

▽宛先 [shien@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:shien@yamaguchi-u.ac.jp)   ▽件名 支援スキル研修会参加希望（研修日程）

▽本文 学部学年、学籍番号、氏名

11月5日(木)5コマ	共通教育15番教室	指文字練習・ノートテイク
12月10日(木)5コマ	共通教育演習室3C	ガイドヘルプ・ノートテイク
1月14日(木)5コマ	共通教育演習室3C	手話で挨拶・ノートテイク
2月10日(水)2コマ	共通教育演習室3C	車いす操作・ノートテイク

- ノートテイク：聞こえない・聞こえにくい場合に行う筆記通訳の方法を学びます。
- 指文字練習：50音や数字を手の形や動きで表現してみましょう。
- ガイドヘルプ：見えにくいために移動が難しい場合の補助方法を身につけます。
- 手話で挨拶：簡単な手話で自己紹介できることが目標です。
- 車いす操作：車いすの使い方を確認しましょう。

# 「研修会」開催報告

学生特別支援室では、障害のある学生の支援を想定した支援スキル等の研修会を開催しています。

平成27年度前期に開催した研修会の様子をご報告します。



## 手話研修会

2015年6月18日(木)、7月2日(木)に手話研修会を開催し、両日で延26名の学生が参加しました。

第一回手話研修会では、手話で自己紹介ができるようになることを目標に、手話での挨拶や指文字の練習を行いました。ペアワークで、お互い手話を教えあうなど、楽しく手話を覚える会となりました。手話は初めてという参加者が多かったにもかかわらず、研修会の最後にはみんな手話で自己紹介ができるようになり、楽しく学びながら目標を達成することができました。

第二回手話研修会では、第一回の研修会よりレベルアップして、手話技能検定6級の中の31個の単語に挑戦しました。練習した単語をつないで、手話での伝言ゲーム、名づけて「伝手話ゲーム」をしたり、嵐の「One Love」を手話で歌ったりととてもにぎやかな研修会になりました。

参加者からは、「手話に語源があることを知り面白かった。」「意外と難しかったが、伝手話ゲームで楽しく学べた。」という感想を頂き、みんなで手話を学ぶ楽しさを実感しました。

## 学内バリアフリーツアー

CSR(コミュニケーションサポートルーム:SSRの前身組織)主催で、2015年4月15日・22日に、4名の参加者と車椅子体験や、弱視体験、身障者用トイレ(車椅子用トイレ・オストメイト対応トイレ)の見学などを行い、学内のバリアフリー状況を確認しました。バリアフリーの視点で学内を見てみると、車椅子では通りにくい道路があったり、大きな穴があったりと、いつも何気なく通っている場所が危険な場所を感じました。点字ブロックの上に自転車が止められていたり、人や車の出入りが多かったりと、まだまだ危険な場所があることを痛感しました。バリアフリー調査結果の一部は、「平成27年度 共通教育履修案内」の吉田キャンパス配置図に反映して頂きました。

参加者からは、「スロープはあるだけで、バリアフリーだと思っていたが、角度や幅によって必ずしもバリアフリーではないことを知った」「視点を変えると、学内には危ない場所がたくさんあることが印象に残った」という感想がありました。

今回の活動を通して、学内を歩くときの視点が変化し、バリアフリーに対する意識が高まりました。



## ノートテイク研修会

予定していた7月の研修が台風のため延期になり、2015年8月7日に第1回目のノートテイク研修会を行い、10名の学生が参加しました。

手書きテイクや、パソコンを使用したノートテイク、さらには、連携テイクなどについて学び、テイク役と聞こえにくい役とに分かれて、実際に練習を行いました。

相手に伝わるように速く書くということに難しさを感じている学生もいましたが、何度か練習を重ねるうちに慣れてきた様子でした。「要約筆記は、通訳だ。」ということ意識して、ポイントを押さえた要約筆記ができるようになっていたように思います。手書きとパソコンの両方の良さや難点、また、自分の得意不得意に合わせたテイクの仕方を学び、参加した学生から、「次回も、また来ます。」という感想をいただきました。

今後は、講義形式のデモンストレーションなど、より実践に近い練習にチャレンジしていきます。これを機に、ノートテイクに興味をもち、聞こえにくい学生が入学してきたときに、サポートできる学生が増えること、また、多くの学生のノートテイクに関する知識や理解が深まればと思います。



報告作成:SSR学生スタッフ  
(浦部・本松・豊田・岡村・勢万)

# SSRスタッフ紹介

室長

宮田 浩文

【学生支援センター長・医学系研究科(農学)教授】  
各学部および大学教育機構、関連部局とSSRとの連携を深めます。



副室長

小川 勤

【大学教育センター副センター長・教授】  
SSR業務全般のマネジメントおよび相談を担当しています。

岡田 菜穂子

【講師】

相談対応、学生スタッフ指導、支援室の取り組みに関する企画・立案などを行っています。

講師

田中 亜矢巳

【カウンセラー・臨床心理士】  
カウンセリングを担当しています。火曜日は常盤キャンパス、それ以外は吉田キャンパスに勤務しています。

カウンセラー

金子 博

【特命専門員】

事務を担当しています。  
岡田講師、田中カウンセラーとともに常駐しています。

事務

## SSR「学生スタッフ」のお仕事紹介

SSRでは、学生スタッフが教職員と一緒に障害のある学生の支援準備をすすめています。SSR学生スタッフのお仕事概要です。

### ①SSR内の整備補佐

支援に必要なパソコンの整備、チラシなどの掲示物の作成、学生スタッフのスケジュール整理など、SSRで障害のある学生への支援準備の補佐を行っています。

### ②SSR主催の各種研修会の運営補佐

学内バリアフリーツアー、手話研修会、ノートテイク研修会等の、研修会の準備や企画補佐、研修会開催の広報活動などを行っています。また、今後よりよい研修ができるように、研修後に記録を取りまとめています。

### ③学内バリアフリー調査

学内バリアフリーの現状把握を行っています。教室や設備の使いやすさや、アクセスのしやすさを確認し、調査結果をまとめています。

### ④News Letter作成補佐

SSRの活動をより多くの方に知ってもらうための広報活動の一環で、News Letterの作成補佐をしています。今後、定期的に発行予定です。

### ⑤アクセシビリティ支援スキルトレーニング

聞こえにくい、見えにくい、筆記が難しい等の場合に行うノートテイクや、パソコンでのテイクのためのタイピング練習などを行っています。

### MLに登録しませんか？

障害のある学生への支援活動に興味のある方、「SSR学生用メーリングリスト」に登録しませんか。

➢ 学生特別支援室から支援スキル研修会や関連するイベントなどの情報をメーリングリストで配信しています。

➢ 今後、学内での支援のために学生の力が必要になる場合は、スキル研修会への参加経験のある学生にも呼びかける予定です。

SSR学生用メーリングリストへの登録を希望する方は、学生特別支援室まで！

## 山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間: 10:00~18:00(土日・祝日を除く)

場所: 共通教育本館1F 就職支援室横

TEL: 083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp